

第1号議案 2019年度事業報告並びに決算報告承認の件
2019年度事業実施方針を振り返って

(1) 水環境保全の取り組み

① 諸活動の継続と新たな展開（新たな担い手の発掘）

➤ 守山市の委託事業などの諸活動の実施

- 参加者が減少していた目田川モデル河川づくりだったが、募集チラシ作成などの効果もあり、家族ぐるみの参加が増え、ここから正会員入会につながることができた。
- 水辺の楽校でボランティアへの意識調査を行い興味があると回答のあった保護者に“お手伝い”の依頼を行ったところ、それに応えて次の回には当日スタッフとして活動して下さる保護者があった。



➤ 夏休み生きもの観察教室・次世代育成も視野に入れた環境学習会

- 3日連続で大学講師による観察会への参加で、地域や学年を超えた仲間づくりができた。水辺の楽校では“先生”として参加し、活躍する姿が見られた。



➤ みんなの河川クリーン大作戦

- 普段関りが少ない会員の参加度向上を目的に地域河川清掃を行った。
- 地域会員の参加度向上までは繋がらなかった。(募集方法に工夫が必要)



➤ 内湖ビオトープ再生事業

- もりやま芦刈園で赤野井湾再生を目的とした実験的事業の展開、滋賀県立大学、西日本積水工業株式会社、玉津小津漁業協同組合の協力で実施



※参照：資料1 内湖ビオトープづくり 2019年度活動報告と2020年度活動案

② 地域との協働の推進

- ホテルが地域河川で長期間過ごす事が自生に繋がり易いのではと考察し、ゲンジボタルの孵化幼虫とカワニナの放流を、ほたるの森資料館、二町町自治会との協働で取り組んだ。この結果次第では資料館の終齢幼虫の飼育数を減らし、それに掛かる時間と労力の軽減にも繋がるのではと期待している。
- 新型コロナウイルス感染予防のため赤野井湾・小津袋クリーン大作戦は中止となった。



(2) 財政の確保で新しい事業をサポート

認定NPO法人の利点を生かし、市民の賛同を寄付へつなぎ、安定的な財源の確保を目指す。また、その財源を活用しホテルが飛び交う豊かな河川への改修を提案、実践する。2019年度は助成金申請を積極的に行い財政の確保に繋げようと努力した。結果は以下の通り

助成元	申請内容	申請金額	採択結果
夏原 Grant	生物を用いた赤野井湾ワンドの底生生物環境再生手段	50万	否
タカラハーモニストファンド	目田川の生きもの図鑑作成	50万	否
守山市 市民提案型まちづくり支援事業	夏休み生きもの観察教室	5万7千	5万
パタゴニア環境助成	芦刈ビオトープの創生構想検証	40万	否
都市緑化機構	第39回緑の都市賞緑の市民協働部門	5万	5万
COOP 地域貢献街・川・環境づくり	人とゲンジボタルが共生できる街・川・環境づくり	18万	否
損保ジャパン日本興亜環境財団環境保全財団	子どもたちの水辺への興味を引き出し水辺の自然環境保全と創出に繋がる冊子づくり	20万	否
イオン環境活動助成	生物多様性の高い内湖ビオトープづくり【2020年活動助成】	19万	19万
近畿ろうきんNPOアワード	環境学習の機会を通し、子どもが年代に関係なく多くの「仲間」と活躍の場づくり【2020年活動助成】	50万	30万

- ・ コンサルタントを招き勉強会を定期的に行い、人材確保や資金調達の考え方など、基盤強化のためのスキルアップを目指した。
- ・ 2019年度は寄付に繋がる積極的な活動ができなかったが、寄付者獲得に向けたPRパンフレットの作成に取り掛かった。2020年度の活動に役立てる。

(3) 賛助会員募集で、会員数の増加をめざす

組織の活性化を進めるために、多くの会員による活動への参加と、イベントでの会員獲得のための積極的な募集を推進する。

- ・ 広報誌での呼びかけや活動を共にする会員から賛助会員への申し込みが数件あったが、積極的な募集活動が十分だったとは言えない。活動に参加する会員も減少し、一会員の負担が増え、その中で会員獲得のために動ける人員の確保も難しいことが大きな課題となっている。賛助会員だけでなく、正会員を増やすことが重要となってきた。

内湖ビオトープ再生事業



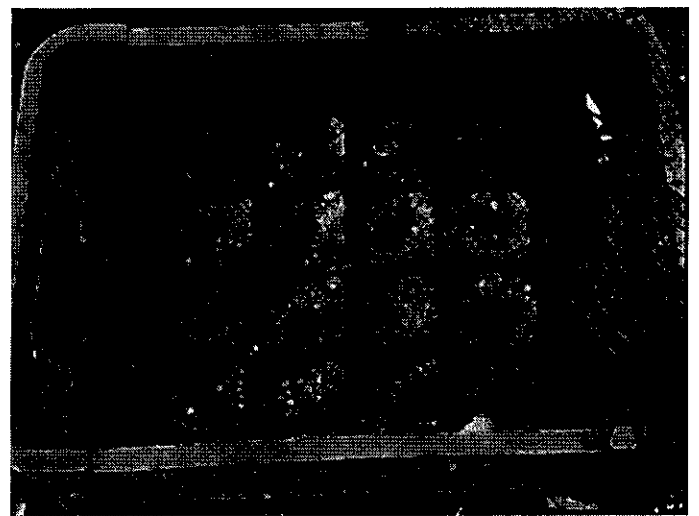
資料 1

内湖ビオトープ作り 2019年度の活動概要と2020年度の計画

将来、赤野井湾に近い芦刈園内の琵琶湖内湖にシジミを取り戻そうと、ビオトープ作りを始めました。

まず場所の占用許可を滋賀県立大学に取得していたとき、環境科学部伴教授と連携しながら環境モニタリングを開始しました。また、水生動物分類のエキスパートである龍谷大学講師の上西先生の協力を得て、湖底動物の観察も始めました。

小さな湖の一角をネットで囲い大型魚が入り込まない領域を作り、そこにカキツバタやハナショウブを植えこんだ筏を設置しました。筏を使ったのは、水位が年間で平均 60cm 変動する影響を小さくするためです。湖底にはヘドロ層の上に箱を設置し、食用にできるタテボシガイを育て始めました。これら活動にご協力いただいた、西日本積水工業株式会社、水資源機構、玉津小津漁業協同組合様に感謝いたします。



2020年度は、イオン環境財団からの助成金も活用して、水面下 10-30 cm に砂地及び田土の疑似湖底を作りそこでの生態系多様化を観察します。また水耕栽培する植物の根に守られて生息する生物調査も行います。30 cm 以上の厚いヘドロ層で覆われ、その表面にヒメタニシなどの巻貝類が住む貧弱な生態系を持つ現在の内湖湖底が、どのように変化するのか楽しみです。これまで限られたメンバーによって活動してきましたが、子供達と共に行う生物調査等参加する人の輪を広げたいと思っています。また、これまでの活動で得られた、「遅効性肥料起因のマイクロプラスチック蓄積」「陸生化したオオバナミズギンバイ駆除法」等の情報発信にも努めたいと思っています。

全体活動	
名称(実施日・備考)	概要
第16回(2019年度)通常総会 6月9日(日) 守山市立図書館	1号議案 2018年度事業実施報告並びに決算報告承認 2号議案 2019年度事業計画(案)並びに活動予算(案)承認 基調講演 NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表 河合 将生 さん
事務局会議 毎月第1金曜日	経営・運営会議、必要な事項については運営委員会で審議及び承認を受ける。
運営委員会 2019年度は5回開催 (4月 7月 10月 12月 3月)	事務局会議から経営、運営に関する提案について審議、承認 運営委員規約検討など 各事業活動報告、会計報告 運営委員からの意見、提案について協議、対応など
環境保全学習事業部会 環境情報発信事業部会	毎月第1木曜日に開催 毎月第1火曜日に開催
2019(第16回)守山ほたるパーク &ウォーク 5月18日(土)～5月26日(日) 実行委員会構成団体 37団体 ボランティア(延べ)600人 ホタル飛翔数 約2,500頭 観賞者数 約2,500人	2019年度のゲンジボタルの飛翔時期は、2018年より3日～1週間遅かった。ほたるの森資料館のほたる河川でも本イベントが終了した後にピークを迎えた。 ホタルの飛翔状況は、守山ほたるパーク&ウォークのホームページで発信したので、来場者数にも反映し、イベント終了後も多くの方が資料館を訪れていた。 これらのことから、インターネットからの情報取得が通常化してきたと思われ、これからは情報発信の重要性が増してくる。 2019年度は人件費の値上がりによる警備費、バス運行代も値上がりした。2020年度もこの傾向は続く予測でき、本事業の運営方法を見直す時期が来ているのではと考える。 これは幹事会反省会でも指摘があり、2020年度の課題として引き継ぎ協議していく。

その他

ほたるサポーター事業 通年	ほたるサポーターからの賛助会費、寄付を生かした河川保全と保護を目的とした活動、河川への愛着を深め、環境保全の機運を高めるため、市内河川に放流するゲンジボタルの幼虫の飼育を行った。
------------------	---

① ホタルの調査、飼育および研究事業

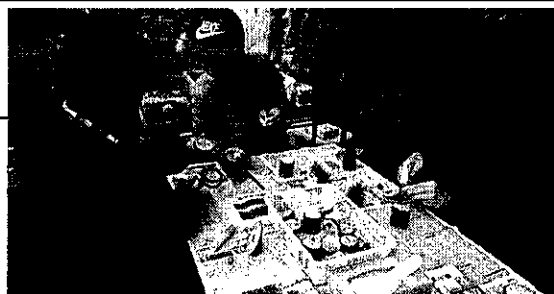
(1) 守山市ほたるの森資料館指定管理運営

資料館維持管理	ほたる河川整備、木道整備と清掃など
館内の新規展示物の充実を図り、来館者増加につなげる	この木なんの木クイズ 野洲川改修通水40周年記念展示 夏休み観察教室参加者の成果物展示観察(スケッチ、標本、活動写真)
守山ホタル研究室の運営	守山市内河川のゲンジボタル自生を目標とする地域、学校、幼稚園、企業などへの要望に応えるため、1年を通じて、提供用のゲンジボタル幼虫飼育を行った。
守山ほたるパーク&ウォーク関連 5月18日(土)～5月26日(日)	夜間会館の実施 期間:5/18～6/9 開館時間:19:00～22:00 パーク&ウォーク期間中の市民運動公園内散策路の安全対策

(2) 各種講座および研究

ほたる講座(全8回) 9月開講 毎月第1土曜 【参加者6名】受講料3,000円	市内外から受講者を募集 ホタルの生態から飼育方法までを学ぶ講座
---	------------------------------------

名称(実施日・備考)	概要
第1回環境学習会 8月30日(土) 市民ホール 【参加者22名】参加料無料	講演: 中島 耕 さん 「守山のホタルの話」
第2回環境学習会 12月14日(日) ほたるの森 【参加者6名】500円	ほたるの森の楽校 講師: 鹿田 良男 さん ネイチャーゲーム 木の实を 使ったクラフトづくりなど
ゲンジボタル、及びカワニナの飼育 および研究 通年	ゲンジボタルの飼育、研究、調査 ヘイケボタルの飼育、研究 コモチカワツボの飼育、研究、調査
ゲンジボタル幼虫提供 随時	幼稚園、小学校、高等学校、自治会、企業に提供 (守山市内限定) 二町自治会…子ども会と一緒に孵化幼虫の放流も実験的に行った。
研修受け入れ 随時(要申し込み)	大阪教育大学附属平野小学校5年生 吉身小学校4年生 のほか 市内小学校環境学習教室、中学校の職業体験、JICA など
出前講座 随時(要申し込み)	守山保育園4歳児、5歳児 レイカディア大学講師 など



(3)その他

第52回全国ホタル研究大会 (沖縄県久米島)4/19~4/21	職員2名が参加し研究発表を行った
技術支援教務請負契約締結	JNC ファイバース株式会社とゲンジボタル増殖技術支援業務請負契約を締結し、技術指導などを行った。

② 環境情報交換発信事業

(1)情報発信

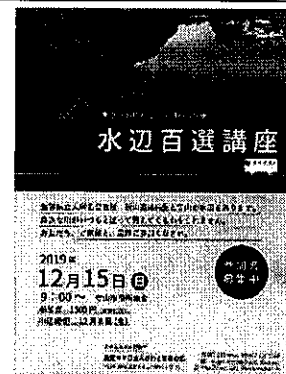
ホームページの充実 (自主事業)	当法人ホームページからフェイスブックが見られるように設定し、常に新しい情報が発信できるようになった。また、ツイッター、インスタグラムも開設し、若い世代の保護者の目に止まるように工夫をした。 まだまだフォロワー数が少なく拡散力が弱いので、期待通りの効果は出ていない。各イベントチラシや広報で PR するなど、フォロワーを増やす工夫を検討中。
機関紙「豊穰の郷だより」発行 (自主事業) 7月・11月・3月 各1700部発行	紙ベースの情報発信として、会員への活動報告、情報提供、啓発広報のため、会員(個人・団体・自治会)に送付するほか、各イベント参加者にも配布を行い、活動を紹介し、入会への呼びかけのツールとして役立てた。
学区民のつどい等情報提供 5月26日 10月20日 10月28日 11月2日 11月24日	地球市民の森のつどい 守山学区民のつどい・速野学区民のつどい 小津ふれあいまつり 守山市環境フォーラム参加 もりやま市民活動屋台村

環境エコイズや
パネル展示で啓
発広報

(2)地域情報ネットワークづくり

第17回川づくりフォーラム 2月8日(土) 守山市立図書館 【参加者約70名】参加費無料	テーマ: 守山と野洲川改修 基調講演: 守山の歴史・文化を育んだ野洲川、その光と陰 守山市埋蔵文化財センター 所長 岩崎 茂 さん 野洲川改修40周年の年に合わせた野洲川に特化した特別企画
---	---

名称(実施日・備考)	概要
自治会向けホームページ教室 毎週金曜日【随時受付】無料	自治会対象のホームページ教室 講師 藤井清さん 泉町・笠原が受講
(3)情報提供・共有	
守山の水辺百選マップ作り リーフレットの更新	「守山の水辺百選」の充実を図り、新規 20 地点の選出と調査に加え、現在選出されている地点についても調査を行い、著しく変化のあった場所については地点の差し替えなども行った。今まで 80 地点だった地点を 100 地点に増やし、500 部のリニューアル版の印刷を行った。
水辺百選講座 12月15日(日) 【参加者 16名】 参加費 1,500 円+昼食代	現地探訪編 テーマ:あなたの知らない水辺の百物語 講師:滋賀県立大学名誉教授 秋山道雄さん 探訪先:丹堂川(梅田)、金森湧水公園(金森) 大庄屋諏訪屋敷(赤野井)、鳩の森公園(小島) 守山市のバスを借りて移動
樹木医とめぐる水辺探訪講座 (自主事業) 8月3日(土) 【参加 15名】1500 円+昼食代	コース:伊吹山方面(伊吹山、山室湿原など) 講師(樹木医):鹿田良男さん
研修受入れ・講師派遣 (自主事業) 8月28日(水) 10月11日(金) 11月17日(日)	海外…ブラジル、マレーシア(ILEC)、中国湖南省(JICA) 教育機関…吉身幼稚園 守山市立守山中学校 企業…近畿ろうきん(小さな自然体験教室-目田川-)
マザーレークフォーラム (びわコミ会議) 8月31日(土)	会場:ピアザ淡海 琵琶湖保全活動の広報展示と会場スタッフとして参加



③ 環境保全学習事業

(1)環境保全活動	
目田川モデル河川づくり 毎月第3土曜日 9:00~12:00 【参加者延 131名】	ごみ拾い、草刈、護岸整備、水質調査など 最近では家族での参加が増えている。 図書館に設置したチラシを見て参加してくださる人も数人あった。更にその中から正会員に登録する人もあり、活動の充実が実感できる年になった。
オオバナミズキンバイ除去活動 (自主事業) 8月14日(水)【参加者 46名】	もりやま芦刈園浄水池で繁茂するオオバナミズキンバイ除去のため、国際ボランティア学生協会(IVUSA)、玉津小津漁業共同組合との協働で実施。
みんなの河川クリーン作戦 (自主事業) 9月28日(土) 【参加者8名】	行事などへの参加が遠のいている正会員の皆さんが、気軽に活動ができるような、身近な河川での清掃活動の企画 場所:法竜川(近江富士農協カントリーエレベータ付近)
赤野井湾・小津袋クリーン大作戦 (自主事業) 3月14日(土)【中止】	会員の他、自治会、企業、学生からの参加申し込みも多数あったが、コロナウィルス感染症予防のため、守山市からの打診を受け、中止とした。



(2)環境学習活動	
赤野井湾探検会 8月18日(日) 【参加者 30名】 参加費:小学生 500 円 中学生以上 1,000 円	赤野井湾を舞台に、湖のことを学ぶ環境学習会 漁船に乗り漁業体験、外来魚を解剖し胃の中を調べる食性調査、湖魚料理で昼食など 当初7月に予定していたが、台風のため延期し、8月開催となった。湖上の安全対策や猛暑による熱中症対策にも万全の注意を払った。

名称(実施日・備考)	概要
夏休み自由研究観察会 (市民提案型まちづくり助成事業) 7月31日(水)～8月2日(金) 【参加者小学3年以上の児童7名】 参加費 3,000円	夏休み、3日連続講座の実施 講師:龍谷大学講師 上西 実 さん 水生生物採集や観察、スケッチ、標本づくりの体験。参加者には、水辺の楽校で“先生”として活動してもらうほか、当教室の成果物を、夏休みの期間中、ほたるの森資料館で展示を行った。
水辺の楽校(目田川) 【参加者】夏編(8/24)40名 秋編(11/23)31名 春編(3/28)17名 参加費:小学生 500円 中学生以上 1,000円 幼児 200円 乳児無料	親子や友達と一緒に自然の楽しさを体験する場の提供 清掃活動(ごみ拾い)、ごみの話し ゲンジボタル幼虫放流、水生生物採集、水辺の生きもの解説、クラフト作り、ザリガニ取り大会、竹パンづくりなど、水辺で自然と遊ぶ楽しさを伝えることができた。 春編では新型コロナウイルス感染予防に配慮して、マスク着用を徹底し、持参していない参加者にマスクの配布を行った。その他アルコールで手指の消毒、手作り昼食を中止して菓子パンと飲み物の提供に切り替えるなどの対策を取った。



(3) 研究・調査活動

河川水質調査 5月・8月・11月・2月・代播時 (6月全国一斉水質調査参加)	年5回、市内河川80地点の水質調査を行っている 調査結果表とともに、学区ごとに1か所、水質調査地点を選び、コメント付きでホームページで公開している。
水辺の探検会(水生生物調査) 11月9日(土) 【参加者13名】参加費 500円	定点河川(目田川・吉川川)と杉江町里中川(西郡橋付近)、今宿川(勝部神社裏遊歩道側)で調査 講師:上西 実 さん 2019年度の調査では見つかった水生生物から、各調査地点の川の状態は“ややきれいな水”(水質階級Ⅱ)という結果が得られた。
ホテル環境調査事業 ～ホテル飛翔調査～ 5月13日～6月14日 【調査員34名】	守山ほたるパーク&ウォーク散策路及び守山市ほたる条例第5条に定めた保護区域73地点で、ホテル飛翔期間中にはほぼ毎日調査を行った。 散策路の飛翔状況は守山ほたるパーク&ウォークのホームページで毎日発信した。
ほたるマップ作成	ホテル飛翔調査結果をほたるマップ2019にまとめ、びわこ豊穰の郷ホームページで公開する他、1,000部を印刷し、ほたるの森資料館、各学区会館、守山市役所、守山市立図書館に設置、及び各学区民のつどいなどで配布した。
目田川生き物図鑑づくり 通年	上西実さんの監修で、2015年度「水生生物編」・2016年度「魚編」・2018年度「植物(春夏編)」を発行。今後植物編(秋冬編)・樹木編の制作を計画している。

④ その他前各号の目的を達成するための事業

環境保全推進事業	2019年度の事業計画以外に計画された新規事業の企画、提案は行われなかった。
----------	--

(2) その他の事業

賃貸事業	会議室・学習室 賃貸 入居者2名(空室なし)
------	---------------------------

(3) その他の活動

田んぼづくり/菜の花づくり関連 田んぼづくりを通して自然と触れ合う 体験の場所提供(自主事業) 通年	事務所横の田んぼを借り、稲作と菜の花栽培を行った。 米は各行事で使用し、残りを販売。 菜の花は勝部の火祭り松明用、種は製油用として出荷した。勝部の松明組の協力を得て苗植え、収穫を行った。
---	---

決算報告書

自:2019年4月1日
至:2020年3月31日

〒524-0041
滋賀県守山市勝部五丁目 10-25

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷
理事長 金 崎 いよ子

2019年度 活動計算書
2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人びわこ豊穡の郷
(単位: 円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	357,000		357,000
賛助会員受取会費	237,000		237,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	207,140		207,140
3 受取助成金等			
受取民間助成金	278,834		278,834
受取補助金	0		0
4 事業収益			
①ホテル調査、飼育及び研究事業収益	549,820		549,820
②環境情報発信事業収益	76,594		76,594
③環境保全学習事業収益	265,870		265,870
5 受託収益			
守山市ほたるの森資料館指定管理	11,666,671		11,666,671
守山市環境保全活動	2,685,000		2,685,000
6 その他収益			
雑収益	468,848		468,848
7 賃貸事業収益		405,000	405,000
経常収益計 (A)	16,792,777	405,000	17,197,777
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	7,287,259	56,501	7,343,760
臨時雇賃金	18,700	0	18,700
通勤手当	190,127	1,390	191,517
法定福利費	478,862	378	479,240
福利厚生費	260	10	270
人件費計	7,975,208	58,279	8,033,487
(2)その他経費			
会議費	1,664	64	1,728
交際費	13,941	536	14,477
旅費交通費	273,624	400	274,024
通信運搬費	326,149	5,873	332,022
消耗品費	542,323	2,655	544,978
事務用品費	74,570	1,072	75,642
修繕費	61,870	0	61,870
新聞図書費	25,473	699	26,172
印刷製本費	231,730	3,269	234,999
燃料費	17,276	0	17,276
水道光熱費	1,322,487	7,456	1,329,943
支払地代家賃	179,965	6,642	186,607
リース料	142,325	5,054	147,379
保険料	90,100	1,178	91,278
諸会費	20,467	220	20,687
諸謝金	571,195	1,200	572,395
支払手数料	4,478	136	4,614
委託費	2,963,971	400	2,964,371
租税公課	-19,436	-748	-20,184
雑費	134,007	1,107	135,114
その他経費計	6,978,179	37,213	7,015,392
事業費計	14,953,387	95,492	15,048,879

2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,299,525		1,299,525
臨時雇賃金	0		0
通勤手当	26,134		26,134
法定福利費	8,688		8,688
福利厚生費	185		185
人件費計	1,334,532		1,334,532
(2)その他経費			
会議費	1,235		1,235
交際費	10,180		10,180
旅費交通費	7,462		7,462
通信運搬費	110,981		110,981
消耗品費	50,460		50,460
事務用品費	20,447		20,447
修繕費	0		0
新聞図書費	13,484		13,484
印刷製本費	62,424		62,424
燃料代	0		0
水道光熱費	140,722		140,722
支払地代家賃	128,166		128,166
リース料	95,407		95,407
保険料	27,099		27,099
諸会費	4,246		4,246
諸謝金	23,157		23,157
支払手数料	2,611		2,611
委託費	7,719		7,719
租税公課	-17,193		(17,193)
雑費	21,252		21,252
その他経費計	709,859		709,859
管理費計	2,044,391		2,044,391
経常費用計 (B)	16,997,778	95,492	17,093,270
当期経常増減額 (A-B)	△ 205,001	309,508	104,507
経理区分振替額 (C)	309,508	△ 309,508	0
①税引前当期正味財産増減額 (A-B+C)	104,507	0	104,507
②法人税等			72,200
当期正味財産増減額			32,307
③前期繰越正味財産額			3,834,401
次期繰越正味財産額 (①-②+③)			3,866,708

特定非営利活動法人 びわこ豊穡の郷

2019年度 貸借対照表
(2020年3月31日現在)

(単位：円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金	47,005	前受金	203,000
普通預金	2,041,988	預り金	26,640
定期預金	2,002,072	未払費用	985,205
未収金	1,756,986	未払法人税等	72,200
前払金	17,788	未払消費税	712,086
仮払金	0		
流動資産合計	5,865,839		
固定資産	0	流動負債合計	1,999,131
固定資産合計	0	固定負債合計	0
		負債合計	1,999,131
		正味財産の部	
		正味財産期首残高	3,834,401
		当期正味財産増減額	32,307
		正味財産合計	3,866,708
資産合計	5,865,839	負債及び正味財産合計	5,865,839

2019年度 財産目録
(2020年3月31日現在)

(単位：円)

(資産の部)		
流動資産		
現金	47,005	47,005
普通預金	2,041,988	2,041,988
--滋賀銀行	1,086,623	
--郵便振替口座	765,365	
--ゆうちょ通常貯金	190,000	
定期預金	2,002,072	2,002,072
--滋賀銀行	2,002,072	
未収金	1,756,986	1,756,986
前払金	17,788	17,788
仮払金	0	0
流動資産合計		5,865,839
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,865,839
(負債の部)		
流動負債		
前受金	203,000	203,000
預り金	26,640	26,640
--源泉所得税	10,886	
--雇用保険等	15,754	
未払費用	985,205	985,205
未払法人税等	72,200	72,200
未払消費税	712,086	712,086
流動負債合計		1,999,131
固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		1,999,131
正味財産合計		3,866,708